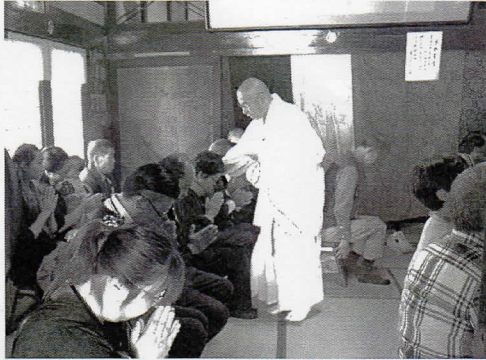
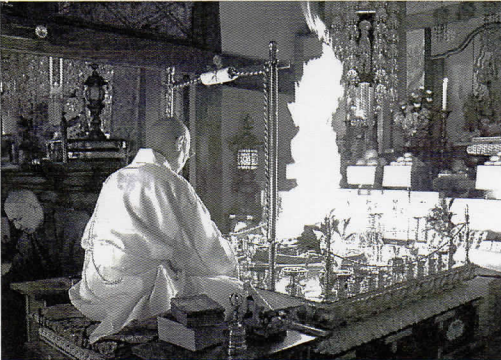


不二の祈り ～上原行照大阿闍梨様護摩嚴修～

月日の経つは、白駒の隙を過ぐるが如し、と言う諺がありますが、今年も残すところあと僅かになりました。本年も、正月の初不動交
通安全護摩祈禱大祭や四月の子育地蔵祭り、お盆、秋祭り、比叡山千日回峰行者上原大阿闍梨様による不二の祈り大護摩供、最後は御会
式とたくさんの行事がありました。六月の比叡山への団参も参加者が多く、意義ある供養を行うことが出来ました。ありがとうございます。又、
お陰と感謝申し上げます。六月の比叡山への団参も参加者が多く、意義ある供養を行うことが出来ました。ありがとうございます。又、
日頃より、皆様の御先祖様の菩提寺である東圓寺に対しての暖かいお心遣いやご協力を衷心より感謝申し上げます。これからも東圓寺の
さらなる発展を目指し努力を重ねますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



昨年10月3日、富士山世界文化遺産を記念し、千日回峰行を満行されました上原阿闍梨様ご来駕され、特別祈禱「不二の祈り」が嚴修されました。今年、比叡山は4年に一度の法華大会（ほっけだいえ）がありました。法華大会とは、比叡山の僧侶になるための試験のことを言います。また、千日回峰行をされている釜堀浩元師が9日間の不眠不休断食の行に入られ、見事満行されました。ニュースをご覧になられた方もおられると思いますが、天台宗にとりまして、特別な年となりました。そのような中、今年も上原阿闍梨様に「不二の祈り」の特別祈禱をしていただけたことは意義深くありがたいことです。多くの方にご参列いただきました。心より感謝申し上げます。

～新年の年始回り廃止について～

院号格の家におかれましては、1月15日の寺参り、お年始が途絶えて数十年になります。毎年1月4日は院号格の家に年始回りをしておりました。この度、檀徒総代・寺世話人会で議した結果、来年よりお年始回りを廃止することになりました。院号格の皆様にはご理解方、よろしくお願い申し上げます。

◆本堂正面儀式幕が新しくなりました◆

東円寺の諸行事の時に使用されてきました、本堂正面の儀式幕が新しくなりました。昭和38年秋彼岸に、大森 宝、大森 穰、渡辺 庄様方が奉納されてからおよそ50年。痛みが激しく、ここ数年間は使用していませんでした。この度、三名の御子孫の奉納により、面目を一新しました。ありがとうございます。

寄附者芳名
平成27年10月3日
本堂正面儀式幕
大森一仁殿
大森敏弘殿
渡辺 隆殿



～仏参金納入口座のお知らせ～

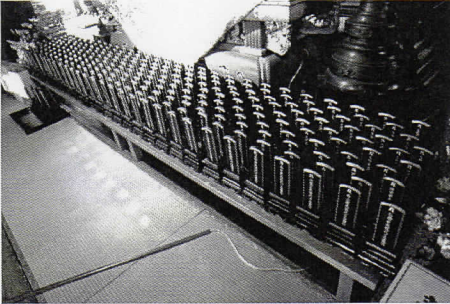
郵便口座
記号10800 番号6654231
口座名 トウエンジ 又は 東圓寺
※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行
忍野支店 口座 普通
121086 東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認ができないことがありますので、必ず戸主がわかるようにしてください。

～お会式ご報告～ 11月3日

東円寺のお会式は、両大師会（りょうだいしえ）と先祖供養を兼ねた特別な法要です。両大師とは、中国で天台宗の基礎ともいえる教えを説かれた高祖天台智者大師智顛様と、日本天台宗を開かれた宗祖伝教大師最澄様のことを言います。この両大師に対して報恩感謝をする日です。また、先祖供養の一般的な法要は、施餓鬼会（せがきえ）をされる寺院が多いのですが、東円寺において施餓鬼会はされていません。施餓鬼の始まりは、お釈迦様のお弟子である目連尊者というお坊さんのお母様が亡くなられた後、どのように暮らしているのか神通力によって様子を見ますと、餓鬼道に落ちていました。目連尊者はお釈迦様にどのようにしたら餓鬼道から母を助けることができるのかお聞きします。お釈迦様は、修行から帰られた多くのお坊様に食事を施すように言いました。その言葉通り、目連尊者は多くのお坊様に食事をふるまいました。その後、神通力で母の姿を見ると、餓鬼道から救われていました。このお話がもととなって、現世に生きる私たちが、餓鬼道に落ちてしまったご先祖様をお救いしなければいけないということから、施餓鬼供養が始まったとされています。東円寺においては、お会式という行事があったことで、施餓鬼会の法要がなかったのか、詳しく記されたものがありませんので想像の域を超えませんが、東円寺のお会式は、両大師に感謝しつつ、ご先祖様に感謝するという特別な法要であることを忘れてはいけません。今年も多くの檀徒様が参列してくださいました。各家先祖代々のお位牌の掃除も合わせてお願いしていますが、お位牌をお作りいただいていない家がありますので、別紙にてお位牌の依頼をお受けいたします。お会式の趣旨をご理解いただき、先祖代々のお位牌を申し込みいただきますようお願いいたします。



先祖代々のお位牌



法要の様子



東円寺から版をご覧下さい
東円寺の様々な行事の様子をお伝えするために、かわら版を作成しています。
行事ごとの会計報告もさせていただきます。
本堂や客殿、また、本堂脇の掲示板に掲示しています。

諏訪明神大祭 9月19日～20日

日本古来の神仏習合を色濃く残す、忍草の諏訪明神大祭ですが、今年も盛大に行われました。秋祭りは、神様に、作物が実った感謝をする収穫祭です。現代社会は、季節に関係なく、様々な食べ物を好きなだけ手に入れることができ、食卓を賑すことができます。けれども、食べ物は、食卓に当たり前に並ぶものではなく、目に見えないところで多くの方が携わっていることを忘れてはいけません。感謝の心は、人の心を豊かにするものです。神事・仏事というものは、日々の気忙しさから、人の営みにおいて忘れてしまっている大切なことを振り返る尊い日です。お祭りの前日から、総代・世話人さんに境内の清掃をしていただき、お神輿様が御着きになられたときのお振る舞い、また、袴脱ぎ（直会）には、奥様方にもお手伝いいただきました。厄年の方、忍草区・婦人会・神楽保存会など、多くの村人の協力があり、秋祭りが盛大に挙行されましたことに感謝申し上げます。

～次回団参予定～

H28年

6月13日（月）

～6月15日（水）

比叡山先祖供養団参

「淡路島・倉敷」方面

詳しくは東円寺だより春彼岸号にてお知らせいたします。どうぞお楽しみに！！

交通安全祈願祭 1月28日 午後2時より

東円寺の初不動大祭は、交通安全祈願祭が主であります。昭和40年代、自動車の普及により、死亡事故が急増しました。これを受けて、当時の忍野村安全協会会長様の発願によって交通安全祈願祭が行われ、現在に至っています。以後、富士吉田警察署からも署長さんを始め数名の署員さんがお越しくださっています。忍野村におきましては、交通死亡事故ゼロが昨年6千日を突破し、山梨県知事から表彰されています。現在も更新中です。人の悩みは尽きません。年初め、今年が良き年となりますよう心を込めて祈祷させていただいております。別紙にて、祈禱申込用紙をご用意させていただきました。合格祈願等も受け付けております。不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



◆のぼり幡奉納寄付◆

随時受け付けております。一枚3千円
祈願申込みは、当日混雑が予想されますので
1月20日までにお願い致します。

※当日受付可

台風18号(平成27年9月関東・東北豪雨)・・・

寒気いよいよ厳しく、皆様にはおかわりございませんでしょうか。

さて年内も残り少なくなって参りました、皆様にはどんな年だったでしょうか。この一年を振り返ると、今年も自然災害が多発してしまいました。まだ収まらない東北地方の余震、ネパール大地震、箱根山大涌谷周辺の火山活動、各台風の大被害。中でも台風18号の鬼怒川決壊の被害は甚大なものでした。9月台風18号発生後、栃木市、鹿沼市、常総市へ神奈川天台仏教青年会は、幾度か現地入りし活動してまいりました。上流の栃木市では床上浸水、下流の常総市では床上浸水に加え土砂侵入の被害が主でした。特に常総市は農業の盛んな関東平野に所在するため、収穫前ということもあって甚大な被害を受けました。堤防決壊した箇所周辺では、床上50～60cmの土砂のため、今なお土砂のかき出しを行っている場所もある現状です。現地ボランティアセンターは活動を縮小し、少しずつ収束に向かっているといわれていますが、実際はまだ復旧作業が続くと思われます。

今回の活動で各ボランティア団体との交流をとおして、「人のチカラ」の凄さと大切さを勉強させていただきました。人間ひとりの力に限界はあるが、手を取り合えば大きなチカラになる。『一隅を照らす運動』と通ずるものがあると感じました。これからも積極的に活動に参加していこうと思いますので、よろしくお願いいたします。

今年も慌ただしく終ろうとしています。ご家族皆健康でよき新年を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

合掌 慈法



『東円寺檀信徒の手引き』について

今年の春彼岸に配布しました、「東円寺檀信徒の手引き」を無くされた方が、「手引き」をいただきに来ることがあります。残部に限りがありますので、お断りしてきましたが、希望者が多い場合は、再版して配布いたしますので、お寺または総代・世話人に申し出てください。配布価格は一冊300円です。

寺庭のつばやき

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。今年も、年間行事すべてを無事に終わられましたこと、衷心よりお礼申し上げます。お盆以降、秋彼岸、諏訪明神大祭、不二の祈り、お会式と、大きな行事が続きました。総代・世話人の奥様方には、お忙しい中お手伝いいただき、行事に花を添えていただきました。すべての行事が天候に恵まれましたことを考えますと、仏様・御先祖様が喜んでくださっているのではないかと考えております。今年10月18日には、先代の17回忌法要をさせていただきました。寺庭として勤めた歳月を振り返りますと、長いようで短く感じております。多くの方々に支えていただき現在の私があります。支えていただいております皆様には、感謝の一念でございます。また、東円寺は、他の寺院と比較しますと、歴史が古いということなのではないでしょうか、富士山と関わりの深い平安時代に造像されたと推定されます大日如来像、国指定文化財となっております、忍草浅間神社の三神像を造像された後、造像されました聖観音像、東円寺のご本尊阿弥陀三尊像、不動明王像と弁財天像、境内には多くの地藏尊像が祀られております。多くの仏様が祀られておりますので、様々な行事をさせていただいておりますが、行事を通して仏教を学び、古より仏様に祈りを捧げてきた人々の心に思いをはせますと、自分の至らなさを感じる日々でございます。けれども、仏様・御先祖様を守る仕事をさせていただいておりますことに、感謝しておりますし、誇りを持たせていただいております。今後も、東円寺の更なる発展に精進して参りますのでご支援のほどよろしく願いいたします。

一隅会会員募集

天台宗の一隅を照らす運動は、信仰と実践に基づく天台宗の社会啓発運動です。東円寺では、忍野八海が富士山世界文化遺産の構成資産に登録される以前から、忍野村を訪れた方々が自然の豊かさに心と癒やされお帰りいただけるよう、ささやかですがお手伝いをと考へ、忍野八海周辺また、新名庄川の河川清掃をしております。

伝教大師様の教えであります、『己を忘れて他を利する』ということを実践しております。この趣旨に賛同くださる方を大募集しております。お仲間を誘ってご参加ください。

※八海清掃は毎月8日に行います。

1・2月はお休みです。3月より再開いたします。

変更する場合は事前にご連絡させていただきます。

御詠歌講中募集

東円寺の行事に欠かすことの出来ない御詠歌ですが、御詠歌の唄に耳を傾けたことはあるでしょうか。御詠歌というのは、御仏様の慈悲深いお心が詰まった唄と、唄に合わせた旋律は、心の目を開き、耳を傾けることによって深く沁みてくるものです。また、人間として生まれたことの喜びを実感していただくことができるものです。御詠歌のお仲間を募集しています。お仲間を誘ってご参加ください。

※3月～12月 第2・第4月曜日

午後2時～3時

お願い
泥酔状態での鐘突き
はとても危険なので
やめましょう。

煩惱・・・
消滅・・・

～大晦日には、除夜の鐘を撞きましょう～

毎年12月31日の夜中より元旦にかけて、除夜の鐘を撞いています。除夜の鐘は一年の終わりであると同時に、新しい年の始まりでもあります。行く年来る年の要に響き渡る鐘の音と共に、新年に向けての新たな決意を呼び起こしてくれます。是非、東円寺の除夜の鐘を撞きに來てください。けんちん汁や甘酒などをご用意してお待ちしています。

